



昭和29年の合併祝賀会で祝辞を述べる町長
職務施行者・細井弥作氏

白岡町が50歳になりました

～振り返ります、町制施行50年の歩み～

昭和29年9月1日、日勝村、篠津村、大山村の一部が合併して白岡町が誕生しました。明治43年に開業した白岡駅を中心に、新しい町の発展に期するという考え方から「白岡町」と命名されました。

それから50年、自然と調和し環境に配慮したまちづくりを進めながら、今では人口が48000人を超える町になりました。

町制施行から今日までを振り返ってみましょう。

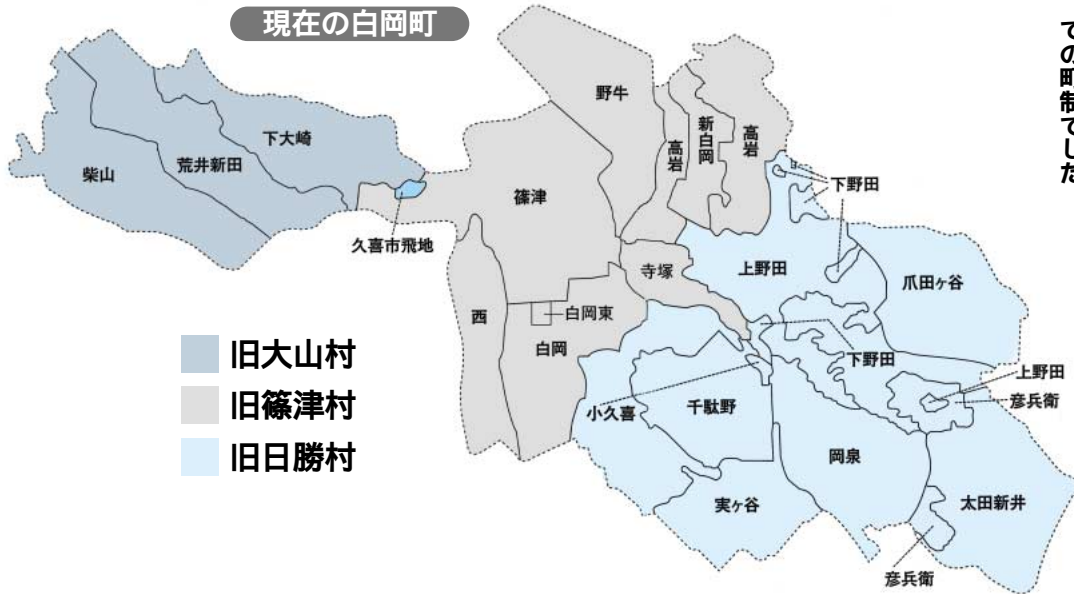
昭和の大合併 白岡町の誕生

3村合併で白岡町

昭和28年に制定された「町村合併促進法」により、全国の自治体では町村合併の気運が高まってきました。

埼玉県では町村合併審議会を結成し、「町村合併試案」を作りました。この試案を受けて日勝村・篠津村・大山村では、それぞれに合併促進審議会を設け、慎重な検討を重ね、白岡町が誕生しました。

白岡町合併の特徴は、県内最初の分離合併だったことがあげられます。大山村の一部が葛蒲町に合併されたのです。また、3村合併は、村部同士の合併による初めての町制でした。



- 旧大山村
- 旧篠津村
- 旧日勝村

町章



昭和30年 町章制定
一般公募の403点から選ばれました。

昭和30年3月3日、当時の渡邊一郎町長が、町の発展の標徴として、他に恥じない町章の制定を希望し、広く町民に公募しました。

3月15日には、それまでかなりの応募があったにもかかわらず再度、図案募集を行なうなど、かなりの熱の入れようでした。



昭和31年 庁舎落成式
庁舎の南側で9月29日に行われました。



昭和50年当時の白岡駅



昭和42年 県道大宮・栗橋線開通（現さいたま・栗橋線）
同年開催の埼玉国体に合わせて造られました。この周辺は10年後に西地区の住宅用地として整備されました。

昭和（町の主な出来事）

48年	48年	45年	44年	42年	38年	38年	35年	33年	31年	30年	29年	白岡町50年の歩み
消防本部を設置	岡泉浄水場完成	定区域、市街化調整区域決	都市計画法による市街化	国道122号線が開通	いたま・栗橋線が開通	県道大宮・栗橋線（現さ	立	津・大山）完全給食業務	町内各小学校（薺・篠	町章制定	日勝村、篠津村、大山村	
							蓮田町白岡町衛生組合設		白岡町庁舎完成	が誕生する	の一部が合併し、白岡町	
							開始					